

令和4年度 2号 家庭教育通信

令和4年12月15日発行
八千代市教育委員会生涯学習振興課

「家庭教育通信」では、家庭教育講演会のお知らせや子育てのヒントなど、家庭教育に関するお役立ち情報をお届けしています。

第2回家庭教育講演会が開催されました 「思春期は大人になるための通り道 ～元保健室の先生から見た子どもたち～」

10月20日(木)、元保健室の先生で、現在は千葉県スクールソーシャルワーカーをされている清水洋子先生を講師にお迎えしました。



始めに先生は、「子どもたちには『幸せな大人』に成長してもらうのが私の願いです。」そして「『幸せな大人』というのは『自分のことが好きでいられる人』だと思っています。」と話されました。

次に、アメリカの学者「エリクソン」の発達段階を紹介してくださいました。それぞれの段階では、プラス(+)とマイナス(-)のどちらの経験も必要ですが、マイナス(-)が強すぎると力が得られないということです。例えば、6歳～12歳ごろは<勤勉性>が得られる時期ですが、「不満足や過度の失敗(-)」が多いと劣等感が生まれ、「何かを頑張ろう」という気持ちにつながらないようです。「今、やる気がない」のは、実はその頃の経験が関係しているのかもしれない。成功体験(+)を増やして自信がつけば、今からでも変えることができます。

その後、保健室の先生としてのいろいろな実体験を話してくださいました。終了後のアンケートには、「これまでの経験から実際のお子さんの事例が多く聞けて、説得力がありとても参考になりました。」等の感想をいただきました。他にも多数いただいた感想は「令和4年度第2回家庭教育講演会の結果」として八千代市ホームページに載せましたので、是非ご覧ください。

最後の質疑応答では、3人からの質問に丁寧にお答えいただきました。聞いていた方から「講演の内容も勉強になりましたが、質疑応答の内容が具体的に分かりやすかったです。」という感想もお寄せいただきました。

終了後のアンケートで今後の家庭教育講演会で聴きたいテーマについて伺ったところ、「良い親子関係の築き方、子どもの褒め方・叱り方、感情コントロールの仕方、生きる力、思春期・心の発達」についての希望が多いことがわかりました。来年度も皆様のお役に立てるような講演会を開催したいと思っております。

家庭教育講座が開催されました 「親子で楽しもう！ショート劇場とワークショップ」



講師にひとり人形芝居雲母(きらら)さんをお迎えし、8月26日(金)、親子(お子さんは3歳から5歳)を対象とした家庭教育講座を開催しました。

前半は、はじめにカエルのミントちゃんが出迎えてくれました。次は、雲母(きらら)さん作製のくるくるシアターで「すいか」がなくなる様子に子ども達はびっくり！続いて、紙芝居「あしながてなが」とミニ人形劇「やさいのおふる」で素朴なお話の世界を堪能しました。

後半は、色画用紙を折って「こぶたぬきつねこのふしぎなおうち」作りです。説明を聞きながら、のりやハサミを使って親子で一緒に完成させました。「さて、こぶたさんは端っこのお部屋から真ん中のお部屋に行けるかな？」という雲母(きらら)さんの問いかけで、子ども達はそれぞれにふしぎなおうちをパタパタと折り返して、こぶたさんを上手にお引越し。「やった！できた！」と嬉しそうに見せているお子さんの表情や「思ったより上手にハサミを使っていて感心しました」と喜ぶお母さんの笑顔が印象的でした。



※ 家庭教育講座開催の結果・感想は、八千代市HP(家庭教育)に掲載しています。

家族が集う冬休み

年末年始は、お寺や神社のすす払い、餅つき、除夜の鐘、初日の出、初詣など新年を迎える行事がニュースなどで見られるようになります。

ご家庭でも、例えば、「我が家のお雑煮の特徴」や「おせち料理のうんちく」など家族の話題にしたり、「デジタル機器を使わないアナログな遊び」をしたりしてみてもいかがでしょうか。

最近はインターネットゲームが子どもたちにも広がり、実際に身体を動かして遊ぶ体験が減っているようですが、お正月にはトランプやかるた、ボードゲーム、しりとりなどで遊んでみては？相手の表情を読んだり、言葉をかけたり、作戦をたてたり、駆け引きしたり・・・まわりの人と一緒に同じゲームに夢中になる楽しさがあったり、思わぬところで子どもの成長を感じたりして、パソコンやスマホなど画面に向かうゲームとはまた違う魅力が発見できるのではないのでしょうか。

何かとあわただしい年末年始ですが、家族団らんの時間を楽しんでください。よいお年を！

